

ナチュラルミスト投与前後における犬の口腔内菌数測定結果

犬番号	検査部位	好気性菌数(CFU/スワブ)		検査部位	嫌気性菌数(CFU/スワブ)	
		pre	post		pre	post
1	右上	2.1×10^7	4.0×10^7	右下	8.8×10^7	2.1×10^4
	左下	6.8×10^6	9.3×10^5	左上	5.5×10^6	1.1×10^4
	平均	1.4×10^7	4.6×10^6	平均	4.6×10^7	1.6×10^4
2	右上	3.9×10^6	1.9×10^6	右下	4.4×10^6	4.1×10^6
	左下	1.2×10^7	2.8×10^6	左上	1.6×10^7	5.2×10^4
	平均	8.0×10^6	2.4×10^6	平均	1.0×10^7	2.1×10^6
合計平均		1.1×10^7	1.4×10^6		2.8×10^7	1.0×10^6

検査方法

- 各希釈用培地¹⁾を試験管に1mL分注しカルチャースワブをカットして入れた。
- 攪拌後10倍階段希釈し、各希釈液の0.1mLを各測定用培地²⁾に接種し、滅菌コンラージ棒で培地表面に一様に塗抹した。
- 37°C48時間培養後コロニー数をカウントし、1スワブ中の菌数を算出した。

1)希釈用培地:好気性菌;Trypticase soy broth(Difco), 嫌気性菌;GAMブイヨン(日本)

2)測定用培地:好気性菌;羊血液加HIT寒天培地(Difco), 嫌気性菌;変法GAM寒天培地(日本)

株式会社 京都動物検査センター
〒612-8073 京都市伏見区下板橋町585番地
TEL 075-612-0861
FAX 075-601-3407

担当者: 和田直子

ナチュラルミスト投与前後における犬の口腔内菌数測定結果

*以下の表は株京都動物検査センターの試験結果を数値(菌数、%)で表した表になります。

犬番号	検査部位	好気性菌数(CFU/スワブ)					嫌気性菌数(CFU/スワブ)					
		pre	post	%	検査部位	pre	post	%				
1	右上	2.1×10^7	2,100,000	4.0×10^2	400	0.02%	右下	8.8×10^7	8,800,000	2.1×10^4	2,100	0.02%
	左下	6.8×10^6	680,000	9.3×10^5	93,000	13.68%	左上	5.5×10^6	550,000	1.1×10^4	1,100	0.20%
	平均	1.4×10^7	1,400,000	4.6×10^5	46,000	3.29%	平均	4.6×10^7	4,600,000	1.6×10^4	1,600	0.03%
2	右上	3.9×10^6	390,000	1.9×10^6	190,000	48.72%	右下	4.4×10^6	440,000	4.1×10^6	410,000	93.18%
	左下	1.2×10^7	1,200,000	2.8×10^6	280,000	23.33%	左上	1.6×10^7	1,600,000	5.2×10^4	5,200	0.33%
	平均	8.0×10^6	800,000	2.4×10^6	240,000	30.00%	平均	1.0×10^7	1,000,000	2.1×10^6	210,000	21.00%
合計平均		1.1×10^7	1,100,000	1.4×10^6	140,000	12.73%		2.8×10^7	2,800,000	1.0×10^6	100,000	3.57%
											平均 6.10%	

試験方法

犬2頭に1週間、朝夕ナチュラルミストをスプレーし、スプレー前後(最終スプレー後2時間)の好気性及び嫌気性の1スワブ当たりの総菌数を比較する。

採財はカルチャースワブ(綿棒)を使用して実施し、上下左右頸歯周部の4カ所をスワブで拭う。前後の採材は同部位の同面積を採取する。

採取されたスワブは右側上顎及び左側下顎好気生菌用、左側上顎及び右側下顎歯周部を嫌気性菌用の検体とし、各分離培地に接種して培養後、菌数を測定する。

検査方法

1)各希釈用培地¹⁾を試験管に1mL分注しカルチャースワブをカットして入れた。

2)攪拌後10倍階段希釈し、各希釈液の0.1mLを各測定用培地²⁾に接種し、滅菌コンラージ棒で培地表面に一様に塗抹した。

3.37°C48時間培養後コロニー数をカウントし、1スワブ中の菌数を算出した。

1)希釈用培地:好気性菌;Trypticase soy broth(Difco), 嫌気性菌;GAMブイヨン(日本)

2)測定用培地:好気性菌;羊血液加HIT寒天培地(Difco), 嫌気性菌;変法GAM寒天培地(日本)